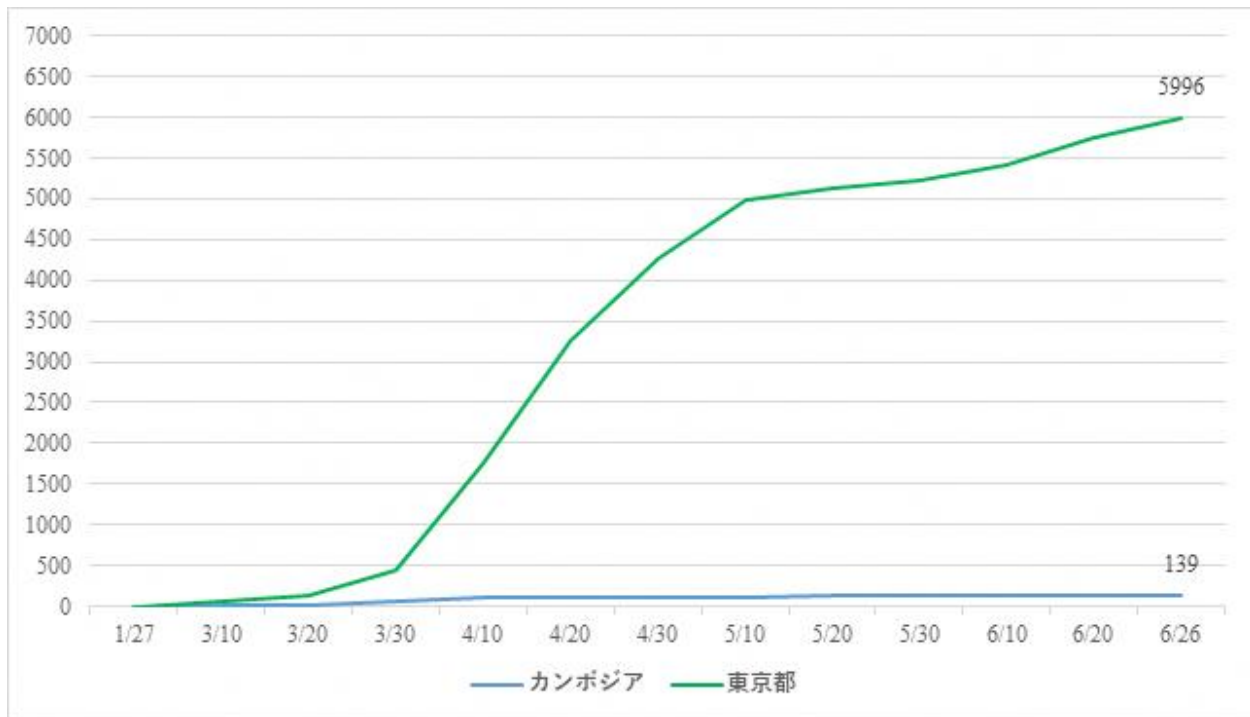


カンボジア国内の新型コロナウイルスの状況について

担当者：岡山県カンボジアビジネスサポートデスク（I-GLOCAL Nob Vannak）

I. カンボジアにおける感染状況

他国で感染者が増えるとともにカンボジア国内の感染者数も増えている。2020年6月26日までに確認された新型コロナウイルスの国内感染者は累計で139人であり、そのうち死者は出ておらず、直近で確認された2人の感染者のみまだ治癒していないとのことである。保健省の通知書によって公表された、カンボジア国内における2020年1月27日から2020年6月26日までの新型コロナウイルスの感染者数の推移は以下のグラフのとおりである。東京都内の感染者数との比較でもわかるように、カンボジア国内の感染者数は非常に少なく、他国と比べてその感染拡大は抑えられていると言われている。



II. 感染影響及び経済状況

・雇用者と労働者の状況

2020年4月27日の労働職業訓練省によると、中国、欧州、米国からの衣料品、靴、鞄といった繊維製品の需要が激減し、国内の約130の工場が労働職業訓練省へ製造停止を申請しており、約13万人の労働者へ影響を与えるとのことである。2020年第1四半期はバイヤーからの発注キャンセルが相次ぎ、衣料品や靴等の売上高は、前年同期比約80%減となり、年間ベースで約50%～60%減少すると見込まれている。

雇用者や労働者支援の一環として、政府は支援金の支給や円滑な業務再開に関する規定の策定を行っている。例えば、ホテル、ゲストハウス、レストランといった観光業においては、雇用者は労働者の労働契約を中断する場合、30\$の最低賃金を労働者へ支給する必要があるが、それ以外に労働者はカンボジア政府から40\$の特別手当を受給できる。この規定は観光業及び縫製業に従事する労働者が該当するが、それ以外の企業に対しては特に規定がないため、上記以外の企業が操業停止と労働契約中断を実施する場合、労働者への賃金支給額は社内で決定する必要がある。

* カンボジア国内の教育

2020年3月14日以降、教育省の省令によってシェムリアップ州における小、中、高、大学のみ休校措置が取られていたが、感染者の増加とともに全国の学校が休校となっている。

現在、小中学生に対して、学校側はオンライン（E-Learning）で教員が直接授業を行っている。高大学生に対しては、オンライン上で自己学習を行い、疑問や不明点があれば教員と連絡を取れるようになっている。



・観光業

新型コロナウイルスの影響で、外国人の入国が制限され、それに伴い外国からの観光客、国内の観光客ともに減少しており、観光部門の収入は激減している。カンボジア国内の観光業収入はこれまで年々増加傾向にあり、国内の経済発展の柱の一つでもあることから、その影響は非常に大きいと言える。

・金融業

借入に伴うローンの返済が困難になる事が予測されることから、政府は銀行に対して返還期間の延長制度の導入を求めた。

・その他、カンボジア国内の日常生活等の状況

新型コロナウイルスの感染拡大により、マスクとアルコールなどの生活雑貨や物品の価格が高騰していたが、ここ最近では以前の水準に戻りつつある。その他、保健省からの要請でカラオケ店や映画館が営業を停止しており、また、外出が減ったことから営業を停止するレストランも見られた。感染者数も落ち着きを見せ、経済活動も回復傾向にあるものの、未だにカラオケ店や映画館は休業状態にある。

III. 新型コロナウイルス感染症の予防対策と経済支援

カンボジア政府は新型コロナウイルス感染症の予防対策に伴い、様々な通知書、案内書や新法令を策定している。

- ・税務局：法人所得税の免税、源泉徴収税率の軽減
- ・商業省：新規企業登録の行政手数料の軽減
- ・社会保険局：労働契約を中断された労働者の社会保険料の徴収を一時的に中止
- ・労働職業訓練省：労働契約を中断された労働者への特別手当の支給
- ・教育訓練省：全国の学校の休校とオンライン授業のガイドライン

関連法令：

- ・2020年4月13日から16日までの旧正月の休日の振替
(2020年4月7日付労働職業訓練省発行通知書のNo. 012/20)
- ・2020年度の旧正月期間の新型コロナウイルス感染症の予防対策
(2020年4月8日付労働職業訓練省のNo. 013/20)

- ・携帯電話の着信音に新型コロナウイルス感染症の予防対策の案内を取り入れる
- ・テレビやソーシャルメディア等に新型コロナウイルス感染症の予防対策

さらに、具体的な感染対策としてはプノンペン市役所、税務局、労働職業訓練省、経済財務省やショッピングモールなどへの入店時、アルコールで手指消毒、マスクの着用、体温測定を行う。(体温は37.5度以上の場合は入店不可となる)



・ 入国規制

カンボジアでは現在も観光ビザの発給は停止されており、外国人の入国制限措置も引き続き行われている。一方で、PCR検査によって陰性が証明された者に対しては入国が認められている。空港到着時には再度検査を受ける必要があるが、2020年6月8日付の経済財務省通知書の令号4898SHVによると、状況に応じて以下のとおり費用請求がされる。

1. 外国人がカンボジアへ入国する際の各種費用 (隔離期間：PCR検査受診から結果受領まで)

No	費用の内容	費用 (1人あたり)
1	空港から検査所までの移動費	5\$
2	検査費用	100\$/1回
3	宿泊費 (施設は省庁間委員会により決定)	30\$/1日
4	食費 (3回)	30\$/1日

2. 新型コロナウイルス陽性者が確認されたフライトに搭乗していた場合（14日隔離）

No	費用の内容	費用（1人あたり）
1	移動費	5\$
2	宿泊費	30\$/1日
3	検査費用	100\$/1回
4	食費（3食分）	30\$/1日
5	洗濯及び掃除代	15\$/1日
6	隔離中の看護費用	6\$/1日
7	警備費	3\$/1日

3. 感染が確認された場合の国立病院における新型コロナウイルスの治療および診断料

No	費用の内容	費用（1人あたり）
1	移動費	5\$/1回
2	診断料（最低4回）	100\$/1回
3	病院滞在費	30\$/1日
4	治療費	最高150\$/1日
5	食費（3食分）	30\$/1日
6	洗濯代及び掃除代	15\$/1日
7	救急サービス（必要な場合）	病院によって費用を定める
8	新型コロナウイルス以外の診断及び治療が必要な場合	病院によって費用を定める
9	火葬費（死亡した場合）	1500\$/1人

4. 新型コロナウイルスに関する診断証明書の発行費

No	費用の内容	費用（1人あたり）
1	検査費	100\$/1回
2	診断証明書の発行費	30\$/1回

IV. 国内の現状

新型コロナウイルスの収束に伴い、ショッピングモール、レストラン、喫茶店等は通常営業に戻っているが、営業を再開するにあたり感染予防措置をとる必要がある。国内の感染状況は終息傾向にあり、同時に海外からの入国制限も緩和されつつあるものの、観光業をはじめとした国内経済への影響は大きく、学校は未だに休校が続き、国民の生活も以前の状態に戻るにはまだ時間がかかると見られる。政府としても、今後新たな感染拡大を避ける為に、日々感染予防対策を呼び掛けている。

<参考文献>

1. <https://cutt.ly/bt1ZjxG> 「シエムリアップ州の感染状況」
2. <https://cutt.ly/dt1ZvCB> 「コンポンチャム州の感染状況」
3. <https://cutt.ly/2t1ZWsU> 「9人感染の確認」
4. <https://cutt.ly/ht1ZYef> 「KTV 及び映画館の営業停止」
5. <https://cutt.ly/Ct1ZP9A> 「イスラム9人の感染確認」
6. <https://cutt.ly/Nt1ZLcq> 「新たに4人感染確認」
7. <https://cutt.ly/yt1ZVbG> 「フランス人35歳感染確認」
8. <https://cutt.ly/9t1ZMhd> 「カンボジアへの入国停止措置」
9. <https://cutt.ly/gt1Z9b9> 「プノンペン市における感染状況」
10. <https://cutt.ly/Pt1Z43w> 「プレアシアヌーク州の感染状況」
11. <https://cutt.ly/st1Vfbx> 「イスラム人の2人新感染確認」
12. 保健省のフェイスブックのサイト
13. <https://cambonomist.com/news/more-than-130-factories-suspended-as-100k-jobs-affected/>

【岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク】

<<日本国内デスク（株式会社 I-GLOCAL 内）>>

【所在地】：東京都中央区銀座1丁目18番2号辰ビル7F

【担当者】：鎌塚 麻由子（かまづか まゆこ）

<<ベトナム/ホーチミン現地デスク（I-GLOCAL ホーチミン事務所内）>>

【所在地】：14th Floor, TNR Tower, 180-192 Nguyen Cong Tru Street, District 1, Ho Chi

Minh City, Vietnam

【担当者】：鈴木 友紀（すずき ゆき）

<<ベトナム/ハノイ現地デスク（I-GLOCAL ハノイ事務所内）>>

【所在地】：Room 1206, 12th Floor, Indochina Plaza Ha Noi Tower, 241 Xuan Thuy Street,

Cau Giay District., Ha Noi, Vietnam

【担当者】：逆井 将也（さかさい まさや）

<<カンボジア現地デスク（I-GLOCAL カンボジア事務所内）>>

【所在地】：13th Floor, Phnom Penh Tower, #445, Monivong Blve (St. 93/232), Sangkat Boeung

Pralit, Khan 7 Makara, Phnom Penh, Cambodia

【担当者】：Mak Brathna(マク・ブラタナ)

※ デスクのご利用にあたっては、「岡山県ベトナム・カンボジアビジネスサポートデスク」利用の手引きをご覧のうえ、まずは岡山県産業企画課マーケティング推進室(086-226-7365)までご相談ください。